

## 序

広島県地域保健対策協議会は、県内における保健・医療・福祉に関する事項を総合的に調査、研究、協議し、その結果を保健医療施策に反映させ、もって県民の健康の保持・増進と福祉の充実に寄与することを目的として昭和44年に設立されました。これまでも多くの提言を行政などの関係機関に対し発信し、多大の成果を挙げてまいりました。

発足以来40余年を迎えましたが、このような組織は他県に例がなく、全国的にも非常に注目されており、ますます県地対協に対する期待が高まっております。

全国的な医師不足やそれに伴う勤務医、女性医師の勤務環境の改善策、がん対策、新型インフルエンザなどの感染症対策、大規模災害への的確な対応や救急医療対策など喫緊に取り組むべき課題が山積しております。

こうした状況に的確に対応し、県民の健康保持増進と、保健・医療・福祉に対する県民の期待に応えていくためにも今まで以上に県地対協は活発な活動を行っていく必要があると考えております。

このため、本年度は女性医師や勤務医の勤務環境の整備に関する検討などの医師確保対策や、乳がん、肺がん、子宮がん、脳卒中、急性心筋梗塞について検診から精密検査・周術期医療を経てフォローアップに至るまでの地域連携パスの作成について集中的に検討してまいりました。

一方、新型インフルエンザなどの感染症に対する危機管理体制の構築のためのアンケート調査や、大規模災害に備えた集団医療救護訓練も実施しております。

その他、在宅ケアや緩和ケアの推進、乳幼児健診体制の在り方や女性の健康づくり支援策、メタボリックシンドロームなどの生活習慣病対策、医薬品の適正使用などについても協議・検討を行うなど多くの成果を上げております。

このように県地対協では、それぞれの専門家が分野を超えて一致協力して問題解決にあたる場として活発な活動を行ってきており、その果たすべき役割は今後ますます大きくなっていくと痛感いたしております。

今後とも健康と安全を守るために、皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

広島県地域保健対策協議会

会 長 確 井 静 照

# 目 次

序	碓井 静照	i
平成 22 年度広島県地域保健対策協議会組織図		1
地域医療体制確保専門委員会		
地域医療体制確保専門委員会報告書		3
脳卒中医療連携推進専門委員会		
平成 22 年度調査研究報告書		39
急性心筋梗塞医療連携推進専門委員会		
平成 22 年度報告書		47
医療を支える環境づくり特別委員会		
医療を支える環境づくり特別委員会報告書		63
地域ケア促進専門委員会		
平成 22 年度地域ケア促進専門委員会報告書		
在宅緩和ケアシステムの構築の必然性と地域医師会主導の地域包括ケアシステム		91
乳幼児健診体制あり方検討専門委員会		
「乳幼児健診体制あり方検討専門委員会」報告書		97
メタボリックシンドローム予防特別委員会		
「特定健康診査受診率向上対策の今後のあり方に関する研究」報告書		
——「特定健康診査情報提供票」による医療保険者と医療機関の連携を考える——		119
地域医薬連携における医薬品の適正使用に関する検討特別委員会		
地域医薬連携における医薬品の適正使用に関する検討特別委員会報告書		155
自殺（うつ病）対策専門委員会		
自殺（うつ病）対策専門委員会報告書		173
女性の健康づくり支援特別委員会		
女性の健康づくり支援特別委員会報告書		195
がん対策専門委員会		
がん対策専門委員会報告書		217
地域緩和ケア推進特別委員会		
平成 22 年度地域緩和ケア推進特別委員会報告書		225
乳がん医療連携推進特別委員会		
平成 22 年度調査研究報告書		247
肺がん医療連携推進特別委員会		
肺がんの医療連携体制の構築に向けて		261
子宮がん検診推進特別委員会		
子宮がん検診推進特別委員会報告書		267
がん医療均てん化推進特別委員会		
放射線治療の均てん化にむけて		281
肝炎対策専門委員会		
B 型・C 型肝炎治療に対する公費助成の現状と		
C 型肝炎インターフェロン病診連携パスの作成		293
健康危機管理対策専門委員会		
健康危機管理対策専門委員会平成 22 年度報告書		299
あ と が き		333